

参加費
無料

国際交流基金 地球市民賞

要申込 公開シンポジウム

地域における社会的課題解決と 持続可能な組織運営

～地球市民賞受賞団体が地域で展開するコレクティブ・インパクトの事例から～

近年、社会的課題が複雑化し、団体や自治体が単独で課題を解決することがますます困難になってきています。取り組むべき活動が多様化する一方、持続可能な組織運営や活動の情報発信など、多くの活動団体が共通の課題を抱えています。

このイベントでは、事業や組織運営の課題と対応策、グッド・プラクティスについて、地球市民賞受賞団体の事例を共有します。複雑な社会的課題に向き合いつつ、組織を安定的に運営していくには、どのような手立てがあるのでしょうか？地域の課題解決の担い手である国際文化交流団体の、今後の活動の在り方をともに検討します。

オンラインでも同時開催

6月28日(水)
18:30～20:00

対面でのご参加:先着25名

国際交流基金
ロビーけやき

新宿区四谷1-6-4
四ツ谷クルーゼ内1階

プログラム

- 1 主催者挨拶
- 2 地球市民賞受賞団体の事例発表
 - 個々の団体の課題とグッド・プラクティスの紹介(人材や資金など)
 - 企業や自治体との協働について 事例紹介 など
- 3 質疑応答

公開シンポジウムの詳細・お申込みはこちら

<https://www.jpff.go.jp/j/about/citizen/followup/2023.html>



主催:独立行政法人国際交流基金(JF)

お問い合わせ:国際交流基金 地球市民賞事務局 東京都新宿区四谷1-6-4 TEL:03-5369-6075 E-mail:chikyushimin@jpf.go.jp

モデレーター



田村 太郎

2022年度地球市民賞選考委員／
一般財団法人ダイバーシティ研究所
代表理事

【略歴】 阪神・淡路大震災直後に外国人
被災者への支援を機に「多文化共生センター」
を設立。地域における多文化共生の推進に従事。

東日本大震災直後に内閣官房企画官に就任し、現在も復興庁・復興推進参与として
東北復興にも携わる。総務省など国や地方自治体の多文化共生関連委員を歴任。
共著に「多文化共生キーワード事典」「自治体施策とユニバーサルデザイン」などがある。

コメンテーター



若林 朋子

2022年度地球市民賞選考委員
プロジェクト・コーディネーター／
立教大学大学院
21世紀社会デザイン研究科教員

【略歴】 1999～2013年、企業メセナ協議会
でPO(プログラム・オフィサー)として企業が行う
文化活動の推進と芸術支援の環境整備に従事。
現在はフリーで事業コーディネート、企画開発、調査研究、コンサル、
NPO支援等に取り組む。

Photo: 安田有里 ©Ko Na design

スピーカー紹介



岩永 清邦

認定NPO法人 地球市民の会 事務局長
(1989年度地球市民賞受賞)

団体サイト <http://terrapeople.or.jp/main/>

【略歴】 青年海外協力隊員として中国に2年間滞り、現職。地球市民の会では、主に
国内事業を担当し、SDGs推進、子どもの居場所づくりを担い、行政や地域の方々と協働で
活動に取り組む。他にも、合同会社葉隠代表社員、公益財団法人佐賀未来創造基金副理事長、
一般社団法人佐賀災害支援プラットフォームの共同代表を兼任。

【団体概要】 人の幸せを自分の幸せと感じられる、そんな人があふれる社会づくりを目指し、
地域づくりに取り組む。活動は、タイ・スリランカ・ミャンマーでの教育や農業、環境保全等、
また日本国内での子どもの居場所、SDGs推進、災害支援。



住岡 健太

特定非営利活動法人 Peace Culture Village 専務理事
(2022年度地球市民賞受賞)

団体サイト <https://peaceculturevillage.org/about>

【略歴】 広島出身の被爆三世。「平和をつくる仕事をつくる」をミッションに掲げるNPO
法人PCVへ参画。平和×〇〇を軸に持続可能なアクション・ソーシャルビジネスを考える
機会を提供している。2022年度には70カ国1万7千名へプログラムを提供し、国際交流
基金地球市民賞を受賞。2022年株式会社PLAY SPACE代表取締役役に就任。

【団体概要】 世界から広島を訪れる人々への平和ガイドや対話プログラムを提供。XRと
いったテクノロジーの活用や、若い世代が有償で仕事として参画する仕組みを構築するなど
国際交流活動のあり方にも新たな可能性を示している。



山野 真悟

特定非営利活動法人 黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長
(2017年度地球市民賞受賞)

団体サイト <https://koganecho.net/>

【略歴】 1978年よりIAF芸術研究室を主宰。1991年よりミュージアム・シティ・プロジェクト
事務局長に就任。「まちとアート」をテーマに様々な美術展のプロデュースを手掛ける。
2008年より拠点を横浜に移し、翌年黄金町エリアマネジメントセンター事務局長に就任。
著書に「アートとコミュニティ」(共著者:鈴木伸治、2021年 春風社)がある。

【団体概要】 横浜市初黄・日ノ出町地区を主な活動エリアとし、地域・行政・警察・大学・
アーティスト等と連携しながら、アートを通じて創造的で特色ある「界限」の形成を進めている。

